

小学生プログラミング県大会 青山君(5^年第2年)最優秀



最優秀賞の青山侑生君(中央)ら＝岐阜新聞本社

全国選抜小学生プログラ

ミング大会県大会(岐阜新聞社、岐阜放送主催、岐阜聖徳学園大学DX推進センター共催)の最終審査が11日、岐阜新聞本社で開かれた。鶴沼第二小学校5年の

青山侑生君(11)のゲーム「ミライへの商品を作れ！」が最優秀賞に輝いた。3月に東京都で開く全国選抜大



最優秀賞の青山侑生君のゲームの一場面

会に出場する。

今年で第3回となる全国選抜大会のテーマは「みんなの未来」。事前審査を通過した3作品が最終審査に臨んだ。

最終審査では、ゲームなどのプログラミング作品を紹介する自作の動画を上映した後、審査員が難しかったところや改良したい点などを質問した。

青山君の作品は、アイデア不足で危機に陥った会社で、素材を仕入れていろいろな商品を作る設定。自ら絵を描いて商品を考えて、世間の評価や売り上げが表示され、資金がたまる

と新しい素材が買える仕掛けとなっている。青山君は「大会のテーマを見てゲームの設定を思いついた。全国大会は緊張するが頑張りたい」と話していた。その他の受賞者は次の皆さん。

▽岐阜聖徳学園大賞 川井峻(西部5)▽岐阜新聞社賞 こやまラボ(古山穂高・関ヶ原5、古山青葉・同2)